
3. セミナーの開催（インプット講義）

本業務では、男鹿中地区の住民を対象に、地域の公共ライドシェア導入の機運を高めるためセミナーを開催した。セミナーでは、公共ライドシェアの制度概要、導入事例、運用形態、課題と対応策等を説明した。

3.1. 開催概要

3.1.1. 開催目的

男鹿中地区での公共ライドシェア導入に向けて、市民の理解促進を目的にセミナーを開催した。また、10月～11月にかけて実施したアンケート調査結果を報告し、男鹿中地区における交通に関する課題や住民の意向を共有した。

3.1.2. 開催概要

(1) 日時

令和7年11月26日（水）10:00～11:00

(2) 場所

男鹿中コミュニティセンター

3.2. 開催にあたっての準備事項

3.2.1. 参加者の募集

開催に当たって、参加者を募集するためのチラシを作成した。作成したチラシを図 3-1 に示す。また、町内会長からも参加の呼びかけを行っていただいた。



男鹿市男鹿中地区



「公共ライドシェア」 セミナー

男鹿市では、男鹿中地区において、地域住民が運転や予約受付を担う公共交通「公共ライドシェア」の導入を検討しています。地域にお住いの皆様に公共ライドシェアをご理解いただくため、説明会を実施いたします。



セミナーの主な内容

① アンケート結果の報告

10～11月にかけて住民の皆様にご協力いただいたアンケート調査の結果をお伝えします。アンケートの結果から、男鹿中地区の移動に関するお悩みや住民の皆様の意向を分析します。

② 公共ライドシェアの説明

男鹿中地区で導入を検討している新しい交通「公共ライドシェア」について説明します。

11月26日水

10:00～11:00 開催

会場 男鹿中コミュニティセンター

場所 〒010-0665 男鹿市男鹿中山町字家口144-2

TEL 0185-33-2039 FAX 0185-33-3200

公共ライドシェア
って何？



- 一般ドライバーが、自家用車を使って有償で乗客を送迎します。
- 事前の予約によって運行します。
- 運行区域や運行時間帯、目的地が限定されることが多いですが、家の前まで迎えに来てくれます。
- タクシーと違って、複数人の乗合となる場合もあります。

公共ライドシェア運行イメージ

予約(デマンド)型



利用者の予約に応じて
路線や時刻を設定

▼セミナーに関するお問い合わせ先

本事業は男鹿市が実施し、日本工営株式会社に委託しています。

■事業全般に関する内容について

→男鹿市 総務企画部 企画政策課

TEL/0185-24-9122

担当：齊藤、狩元

■セミナーの詳細について

→日本工営株式会社(受託事業者)

TEL/022-745-1260

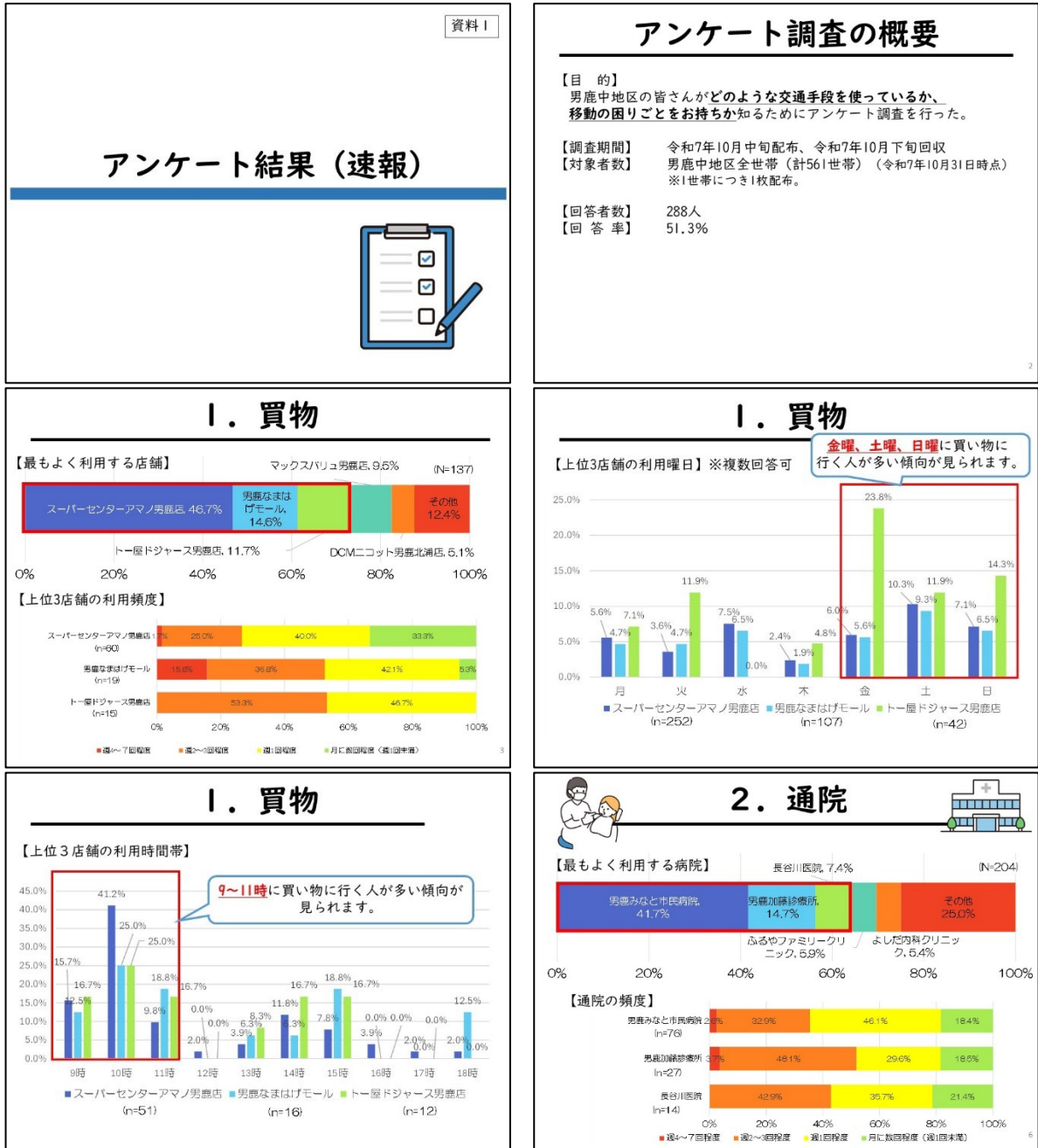
担当：野中、中江

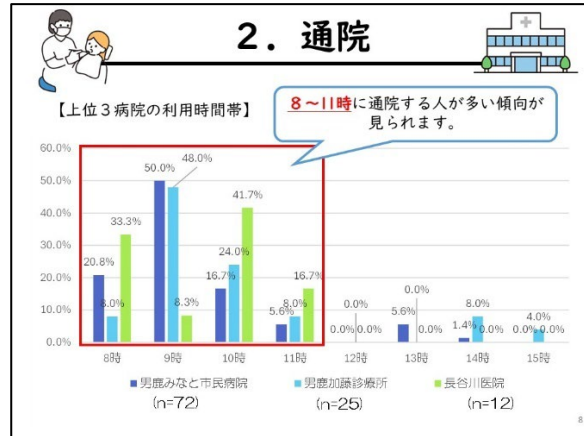
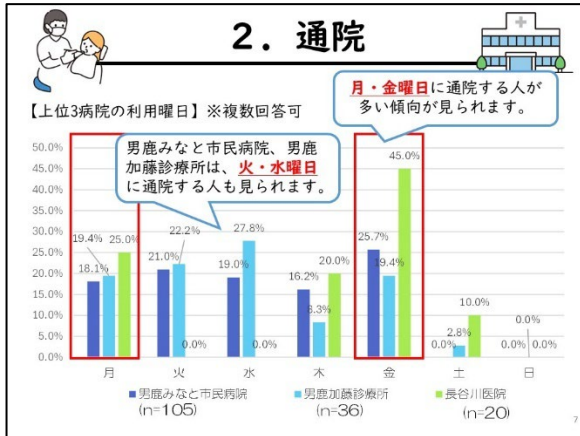
図 3-1 配布したチラシ

3.2.2. 資料作成

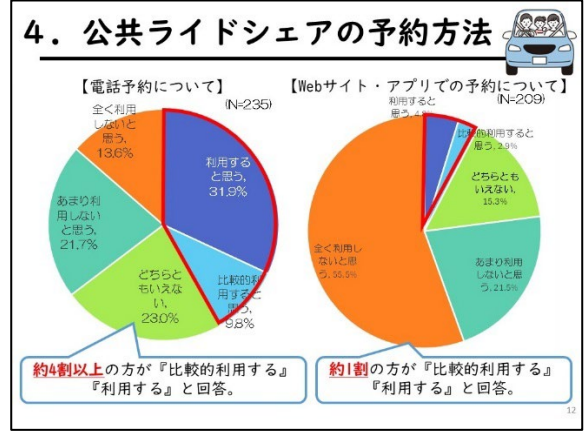
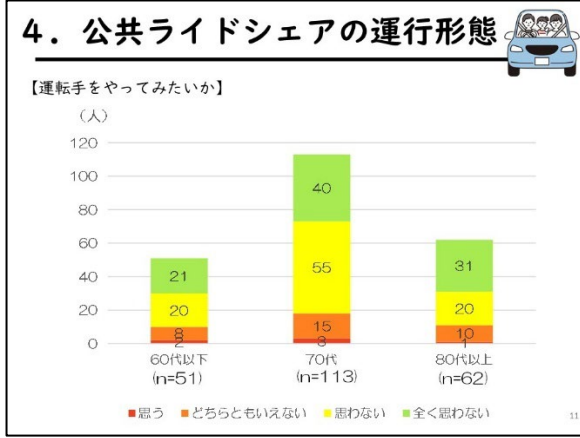
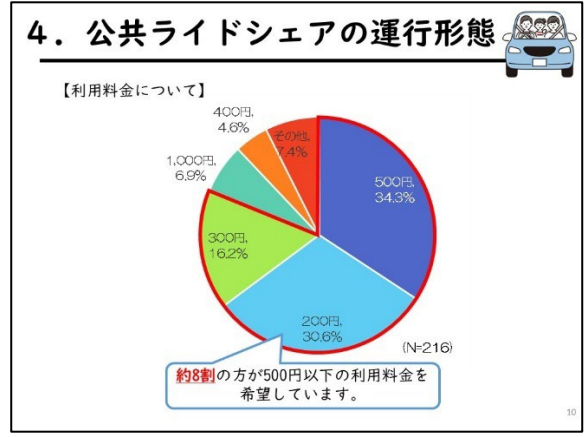
セミナーにおいて、参加者への説明資料を作成した。作成した資料は「アンケート結果（速報）」「公共ライドシェア概要説明」の計2種類である。資料作成に当たっては、ご高齢の方が参加されることを想定し、可能な限り簡潔に、理解しやすい構成とした。また、フォントのサイズやイラストを多めにするなどの工夫を施した。

(1) アンケート結果（速報）





- ## 3. その他（買物・通院以外）
- 【その他（買物・通院以外）での行き先に挙げた施設の例】
- ユメロン（温泉）
 - 介護施設
 - 銀行
 - 電気店
 - 娯楽施設
 - 三ツ森公民館
 - 市内のコミュニティーセンター
 - 市役所
 - 図書館
 - 船川公民館
 - 船川保育園
 - 男鹿市斎場
 - 男鹿市総合運動公園 体育館
 - 男鹿市役所
 - 男鹿地域リハビリ



ご清聴ありがとうございました。

(2) 公共ライドシェア概要説明

資料 2

公共ライドシェアについて



今日のお話

1. 男鹿中地区の“いま”の移動の様子
2. 路線バスだけでは足りない理由
3. 「公共ライドシェア」という新しい移動の仕組み
4. 利用のしかた（予約～乗車までの流れ）
5. 安全への取り組み
6. 地区の皆さんへお願いしたいこと

男鹿中地区の『いま』

- 町内会は全部で10地区あります。
- ご近所さんとの付き合いを大切にしながらみなさん元気に暮らしています。
- 男鹿中地区の人口は884人で、そのうち高齢者といわれる65歳以上は538人です。(全体の60.9%)



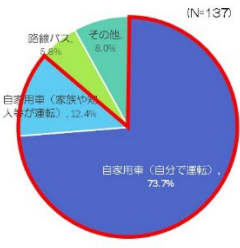
年齢層	割合
65歳以上	60.9%
60-64歳	8.0%
50代	8.1%
40代	10.2%
30代	5.4%
20代	5.1%
10代未満	2.3%



男鹿中地区の『いま』

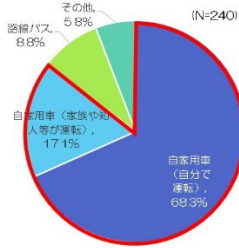
- 男鹿中地区の皆さんは日常生活において、**約8割以上**の方が車^①で移動されていることが分かりました。

【買物に行くときの主な交通手段】 (N=137)



交通手段	割合
自家用車(自分で運転)	73.7%
自家用車(家族や他人が運転)	12.4%
路線バス	8.0%
その他	8.9%

【病院に行くときの主な交通手段】 (N=240)



交通手段	割合
自家用車(自分で運転)	69.9%
自家用車(家族や他人が運転)	17.1%
路線バス	8.8%
その他	5.8%

高齢ドライバーによる交通事故



- 全国でも高齢者による自動車事故が相次いでいます。
- 車を手放すことを考えなければならぬかもしれません。

出典：秋田県警察本部 最新りの警察官

免許返納をして路線バスに乗る？

- 路線バスの運行本数も決して多いとは言えません。
- バス事業者も将来的には運転士不足となることが見込まれ、増便が難しい状況です。

【02】男鹿中線

【上り 浜間口下丁⇒みなと市民病院前】

停留所名称	1便
浜間口下丁	8:00
野田下	8:04
中間口回駐地	8:07
杉下	8:12
藤巻台	8:17
島田	8:22
三ツ森	8:25
熊	8:28
廣生目	8:36
羽立駅前	8:43
男鹿駅前	8:48
みなと市民病院前	8:53

【下り 羽立駅前⇒予約に応じた停留所】

停留所名称	1便	2便	3便
男鹿北線羽立駅前発	●	●	●
羽立駅前	11:30	13:08	14:50
三ツ森	11:32	13:10	14:52
藤巻台	11:53	13:31	15:13
熊	12:00	13:38	15:20
中間口回駐地	12:10	13:48	15:30
浜間口下丁	12:18	13:56	15:38

●：土日祝、8/13～8/15、12/29～1/3連休
 大枠：予約運行
<https://www.city.oga.akita.jp/material/files/group/2/2025040101.pdf>

困りごと（みなさんの声）



このような悩みを解決する新しい仕組みがあります！

相乗りでお出かけする仕組み (これを『公共ライドシェア』と言います)

✓ 地域の方が「自家用車」でご近所の移動を助けあう仕組みです。

✓ 移動したい人とドライバーがいることで成り立ちます。

行きたい方面が同じであれば、自分のお出かけのついでに移動したい人を乗せることもできます。



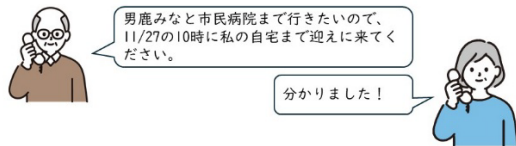
ドライバー
(地域の運転に自信のある方)



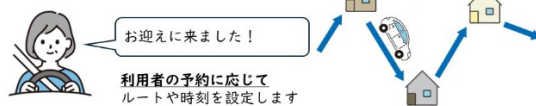
移動したい人
(運転に不安あり)

どんなサービス？

① 前日まで…予約（電話かスマホ）



② 当日…ドライバーがご自宅までお迎え



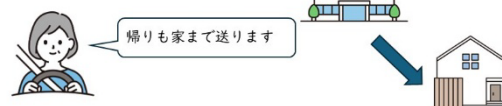
どんなサービス？

③ 目的地へ

利用者はガソリン代などのお金を払って乗り降りします



④ 帰りの予約ができます



この仕組みは全国でも広がっています！



■ 男鹿山根 由緒市 能神村 NPO法人ええとこねっと能神村（動画：約5分）

<https://p0101.safelinks.protection.outlook.com/?url=https://www.youtube.com/watch?v=3UvMjL454&time=00m%2007s%20&context=share&ui=en&rs=en&ad=ja&os=android&ie=1>



11

安全への取り組み

利用者が安心できるように、次のような体制をつくります。

- 事前の**安全講習**
- **運行組織**でルールを管理
- 運行組織が加入した**自動車保険**で運行
- **運行組織**が窓口となり対応

「安心して乗れる」ことを
最優先にします

12

ドライバーについて

- 地域に住む運転が得意な方
- **安全に配慮**できる方
- 国の安全講習を受け、**運行組織が認定**した方
- 責任ある立場として活動できる方



※運転に不安がある方は、利用者として登録できます。

13

料金（案）

※最終決定ではありません。今後協議します。

- 1回 ○○円（ガソリン代相当）
- 定期的に利用する方向けの料金も検討中

14

運行エリア・時間帯（案）

・男鹿中地区の〇〇方面

・朝〇時～夕方〇時

・病院や買い物の時間帯に合わせて設定

⇒地区の皆さんの意見を伺って決めていきます。



15

よくあるご質問（Q&A）

Q1. スマホが使えなくても利用できますか？

A. できます。電話予約もOKです。

Q2. どんな人が運転しますか？

A. 運行組織が認定した、安全運転ができる地域の方です。

Q3. 事故があった場合は？

A. 運行組織が加入した保険で対応します。

Q4. 1人で乗るの？相乗り？

A. 利用状況に応じて相乗りになる場合があります。

15

よくあるご質問（Q&A）

Q5. 車はだれが用意するのですか？

A. 運行組織側で、自家用車を用いるなどの方法を検討しています。

Q6. 来年はどんなことをするの？

A. 来年度は、まずドライバーの育成を進めていく予定です。育成の進み具合をみながら、令和9年度から実証運行を始められるよう、準備を進めていきたいと考えています。

Q7. ドライバーへの手当はある？

A. 現在検討中です。

例えば、和歌山県田辺市龍神村では、1カ月ごとに、運行した分の8割をドライバー、2割をNPO法人へ事務手数料として納める仕組みを採用しています。

17

この仕組みを始めるために必要なこと

① 運行を支えるための**運行組織**を立ち上げます。

② 運行する**区域**や**時間帯**を決めます。

③ ドライバーになってくれる人を探します。

④ 利用者の登録



男鹿中地区の皆さんと一緒に作る
移動サービスです

18

みなさんをお願いしたいこと

① 運行を支える**組織づくり**に協力してください。

② **ドライバー**になってくれる人はいませんか？

③ ぜひ周りの方へ広めてください。

④ 利用したい方もどんでんご相談ください。



19

まとめ

・男鹿中地区の移動は車依存で将来が不安。

・路線バスだけでは対応が難しい。

・公共ライドシェアは「助けあい」で成り立つ新しい交通。

・安全に配慮し、市と地域で支える仕組み。

・これから皆さんの意見で作っていききたいと考えています！



20

ご清聴ありがとうございました。

21

■画像出典

「[飯口地区 地域支えあい交通（自家用有償旅客運送）について](#) - 越前市 keikaku.pdf

<https://meemo.jp/users/maizuru/terms/>
公共ライドシェアサービスの先駆け 舞鶴市長に聞く4年間の取り組み | 2024年9月号 | 事業構想オンライン
舞鶴市公共ライドシェア 共助による移動手段「meemo（ミーモ）」事業について | 舞鶴市 公式ホームページ
京都府舞鶴市で自治体ライドシェア「meemo（ミーモ）」運用開始 - 日本ライドシェア情報局

出典：
jikavo.pdf
令和5年度 | 徳島県徳島県町
町内のアクセス方法 | 徳島県徳島県町

22



WTV

公共ライドシェア

(自家用有償旅客運送)

<p>交通空白地有償運送</p> <p>バスやタクシー事業者がサービスを提供することが困難な地域で実施</p>	<p>福祉有償運送</p> <p>単独では公共交通機関を利用できない身体障害者らの移動手段を確保するために実施</p>
--	--

3.2.3. 実施概要

(1) 当日の進行

当日のタイムスケジュールおよび担当者の役割分担を以下に示す。

表 3-1 進行表

開始時刻	所要時間	内容	男鹿市	日本工営
9:30		会場準備	会場の借用	会場準備 会場設営 (NK2名) ・ プロジェクター、PCセッティング、動画、音声、会場照明 (NK2名)
10:00	5分	開会 ※参加者に記録の許可をとる	開会挨拶：高桑課長	進行 (NK) 写真撮影 (NK)
10:05	15分	資料1 アンケート結果 (速報) 説明		説明 (有賀)
10:20	10分	全体で質疑応答		進行 (NK) ・ 意見の記録 (NK)
10:30	15分	資料2 公共ライドシェア 概要説明 (説明10分+動画5分)		説明 (NK)
10:45	10分	全体で質疑応答		進行 (NK) ・ 意見の記録 (NK) ・ 当日何名参加されたか確認
11:00	5分	※1月のワークショップの開催予告		進行 (NK)
11:00	-	会議室片付け開始		会場の片付け
11:30	-	会議室撤収	会場の返却	

(2) 備品

備品リストを以下に示す。

表 3-2 備品リスト

備品	数量	手配
資料	30部	日本工営
ボイスレコーダー	1台	日本工営
デジカメ	1台	日本工営
プロジェクター	1台	男鹿市
スクリーン	1台	男鹿市

3.3. 開催結果

3.3.1. 結果概要

セミナー当日は計 32 名（うち秋田大学 2 名、男鹿中コミュニティセンタースタッフ 3 名）が参加された。レイアウトはスクール形式（机あり・前方向き）で前方のスクリーン及び配布資料を基に説明した。



図 3-2 当日の様子

3.3.2. 参加者からのご意見

質疑応答では、参加者から多数のご意見を頂いた。特に、ドライバーの報酬に関する質問が多く挙がった。参加者からのご意見を表 3-3 に示す。

表 3-3 参加者からのご意見

参加者からの意見・質問	事務局回答
検討しているライドシェアは市内のみが対象か。潟上市などには行けないのか。	男鹿市内に限定する予定である。男鹿中地区の住民の日常生活を支えるものとして検討しているためあくまで市内のみの想定である。
ドライバーの料金が 8 割とのことだがなぜか。	ドライバーへの負担が多くなると組織の運営に支障がでると思われる。ただし何らかの手当は必要であると考えているので検討中。タクシーよりは利用料金をおさえられるようにしたい。
報酬が多いとドライバーは増えると思う。	報酬をあげるとなると利用料金も必然的に上がるためバランスをみつつ落としどころを検討したい。外出頻度が下がると健康面にも影響がでるため、相乗りで地域を元気にする仕組みを一緒に考えていきたい。
男鹿中地区ではコミュニティ活動も頻繁に行っているが、コミュニティ活動が目的の場合も利用の対象になるか。コミュニティセンターへの足がないためにコミュニティ活動に参加できない場合もある。公共ライドシェアが導入されれば地域活動も盛んになるだろう。	買い物・通院以外の目的であっても問題ない。セミナー資料では主たる目的として 2 つを例示したままである。
男鹿市街地と男鹿中コミュニティセンターまででは、同じ料金にはならないはずである。	料金は今後検討する。
開・中間口・浜間口では路線バスが通るように道路を一時的に拡幅したが、利用者が減少して結局路線バスが通らなくなった経緯がある。このように、当初はうまくいっていても継続できなければ意味がない。ドライバーの講習を受けても、利用者が減れば辞めてしまう人もでてくるだろう。無償のボランティアではなく報酬があった方が良い。	報酬も利用料金も今後検討していく。
市からの補助は検討しているか。	検討はしている。ただし条件がある。①ドライバーがいるか②組織がつかれるか③利用者がいるか。この三点が成立して初めて取り組むことができる。市としてはこの新しい取組をやっていきたいと考えているため、どういった形であれば実現できるのか探していきたい。

参加者からの意見・質問	事務局回答
このシステムには非常に期待している。実現までどれくらい時間がかかるのか。	R 9 年度に実証運行ができるよう進めていきたいと考えている。
市では「ノーマライゼーション」の取組を検討しているか。	市民の誰もが利用しやすい手段となるよう取り組んでいきたいと考えている。
ドライバーは無償だと聞いていたが、有償であれば実現の可能性はあると思う。どうにか実現に向けて進めてほしい。	ドライバーの報酬は何とか考えていきたい。
運行範囲は男鹿市全体か。	範囲を広げすぎるとタクシーや他地域の公共交通と重複する恐れがある。交通空白地域の解消が主目的であるため、運行範囲も今後検討していく。
もしドライバーがいない場合は、市外から確保することも検討する必要があるのではないか。	できれば男鹿中地区内でドライバーを探したい。